

公民館通信



2023年
12・1月号
No.311

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491

ぴと♡ネットワーク

大好きな多摩市に 朗読を 広めたい



読み語り「物集女(もづめ)」主宰
小川 明子 さん

「…ねばならないを捨てて下さいね」ニッコリ笑うのは、読み語り『物集女(もづめ)』さんである。チラシの中ではお着物姿で、楚々として微笑んでいる上品な女性。生まれも育ちも日本橋。近江商人の血も流れる江

戸つ子九代目。歌舞伎座、明治座、末広亭は徒歩で行けた。若い頃はバドミントン漬け。結婚して一男一女に恵まれた後も、子育てしながらずっと続けていたが、半月板を損傷。手術したものの復帰できずにいた。突然やる事がなくなつた時、たまに観に行った劇団が朗読塾を募集していた。朗読ぐらい…と軽い気持ちで参加したら、とんでもない。ここで冒頭の「ねばならない」につながる。自然に語る。身体を開放する。思い切りやったものは削れる。だが、抑え込んだものを伸ばすのは大変だから、と教わった。

最初の講師に「日本の話芸を何か1つ勉強して来い」と言われ、落語教室受講者募集を見つけて落語の道へ。高座名？ ひらめいたのが『江戸乃物集女(もづめ)』。実は、よく通つた定食屋さんの名前。京都の地名にもあるそうだが、なんて粋な名前だろう。多摩から新宿まで楽しく10年間通つた後、読み語りに本腰を入れようと落語を封印。しかし、朗読の発表会は年1回だけ。え、あと20年で20回しか

発表できない？ そう気付いて自主企画を始めた。「百回の練習より、一回の高座。観客の反応を直に感じるこの大切さを落語から学んだ。

初朗読は18年ほど前。息子は一番前で熟睡していたと笑う。家で練習していると家族にうるさいと言われる。でもメゲない。多摩市に朗読を根づかせたい。大人のための朗読を。いろいろなグループから人を集めて、いろんな色が混じつた朗読会を開きたい。朗読の横のつながりを作るのが夢なの♪ 興味ある方はぜひぜひご一緒に！ うつとりと語るその瞳は、少女のようにキラキラと輝いていた。

中央図書館で11月から始まつた企画「教えて！あなたの推し作品！」では、辻村深月、平岩弓枝、そして1月は星新一を皆で読む。参加者募集中。永山フェスティバルでは、角田光代『口紅のとき』を取り上げた。観客とのやり取りの中で時々ふつと、お客様の息と自分の息が同化する瞬間があると言う。すごい感覚！

中央図書館で11月から始まつた企画「教えて！あなたの推し作品！」では、辻村深月、平岩弓枝、そして1月は星新一を皆で読む。参加者募集中。永山フェスティバルでは、角田光代『口紅のとき』を取り上げた。観客とのやり取りの中で時々ふつと、お客様の息と自分の息が同化する瞬間があると言う。すごい感覚！



**公民館・消費生活センター
女性センター利用者懇談会**

利用団体の交流や意見交換を行います。

- ①令和6年1月19日(金)
時間：19時～21時
会場：関戸公民館大会議室
定員：60人(当日先着順)

- ②令和6年1月20日(土)
時間：10時～12時
会場：永山公民館ベルブホール
定員：80人(当日先着順)

※いずれか都合の良い日にご出席ください。ただし、TAMA 女性センター登録団体は①へ、消費生活センター登録団体は②へご出席ください。



あそびとついでいの広場

「ピーかぶー」

ピーかぶーはコーデイナーターが常駐する遊び、くつろぎ、交流する子育て広場です。木のおもちゃや手作りおもちゃを用意しています。

1月11日・25日10時～16時
(受付15時45分まで)

※ミニイベントを11時からと14時から30分程度行います

第1・2保育室

(ベルブ永山4階)



「はじめてのNISA講座」

NISAの基本的事項と制度の変更点、資産運用可能額の試算について、金融アドバイザーから学びましょう!

日時：令和6年1月20日(土)

14時～15時30分

会場：消費生活センター講座室

(ベルブ永山3階)

講師：石村衛氏

(金融広報アドバイザー)

申込：12月22日(金)9時から

永山公民館に電話にて

小学校PTA連絡協議会共催事業
「子育て講演会」

「何があっても大丈夫」を土台に自己肯定感と安心感を育む

家庭で「生と性といのち」の話を、親は子にどのように伝えればいいのか、その心構えなどについてお話ししていただきます。

日時：令和6年1月16日(火)

9時30分～11時30分

会場：ベルブホール

(ベルブ永山5階)

定員：150人(申込不要・当日会場先着順)

【保育有り】

定員：7人(1歳以上未就学児)

※1月5日(金)までに永山公民館に電話でお申し込みください。



講師の青木千景氏
「いのちの語り部」として講演多数

サロンライト

コンサート

公民館で気軽にコンサートを楽しまませんか?

1月13日(土)

15時～16時15分(開場14時45分)

①口笛サークルたまぶえ(口笛)

②アンサンブルあい(女性コーラス)

定員：130人

申込不要・直接会場へ



冬休み

勉強コーナー

永山公民館のギャラリを勉強や読書にご利用ください。

日程 令和5年12月25日(月)～

令和6年1月8日(月)

※令和5年12月29日(火)～

令和6年1月4日(木)は

休館日のため利用不可

時間 午前9時～午後10時

12月25日は13時から

※小・中学生は19時まで

高校生は21時まで



ウィータ・マンズリーコンサート

■ピアノソロコンサート「ドイツ・フランスの名曲 + α

開催日時：1月26日(金) 14時開演(30分前開場)

場所：関戸公民館 ヴィータホール
定員：200人(先着順)

※親子観賞室可
出演：田中百合子

曲目：ノクターン第4番(ラフォーレ)、ソナタ第13番(シューベルト)他

申込：当日直接会場へ(入場無料)
共催：ウィータ・マンズリーコンサート実行委員会・関戸公民館

たまごは芝居

■たまごは芝居参加公演 劇団ドラマ館第36回公演「ビバー小町さん」

「森野漢方相談薬局」を営む小町さんは近所の老いた野良猫べべに餌をあげるのが日課。そして「小野小町」の研究のため13年前に福島に旅に出た娘ナツミの帰りを待っているが…。

開催日時：1月13日(土) 18時開演、1月14日(日)①11時開演②15時開演(いずれも30分前開場)

場所：関戸公民館ヴィータホール
料金：2,000円(日時指定自由席)
チケット取り扱い：問合せ：劇団ドラマ館

電話 060(96960)9773
FAX 042(371)82917

メール doramakan@yahoo.co.jp
CoRich <https://ticket.corich.jp/apply/280034/>

共催：多摩演劇フェスティバル実行委員会・関戸公民館

市民講座 知られざる橋の世界とつと知ろう「多摩の橋のつと」、東京の橋のつと

多摩ニュータウンも含めた多摩地域の橋の魅力と謎、関東大震災後のインフラ復興に架けた技術者たちの想いを土木学会出版文化賞受賞者で橋梁のスペシャリストが語る。

日時 2月17日(土)・24日(土)、14時～16時

場所：関戸公民館 大会議室

講師：紅林章央(公財)東京都道路整備保全公社道路アセットマネジメント推進室長

内容：17日 多摩の橋ものがたりー橋は地形によって造られる、24日 関東大震災100年を超えてー橋にも込められた技術者たちの想い

申込：たま広報1月1日号参照
主催 問合せ：関戸公民館

**スターライトバルコニーin関戸公民館
スターライトコンサートの様子♪**

真っ暗になった関戸公民館の市民ロビーに「星に願いを」が流れ始めると、天井には無数の星が…。

「スターライトバルコニーin 関戸公民館」のオープニングを飾るコンサートは、子どもたちもマットに寝ころんだり座ったりして星と音楽を堪能。

桐朋学園大学音楽学部 3年生の弦楽四重奏が奏でる「星空メドレー」「銀河鉄道999」「四季『冬』(ヴィバルディ)」「クリスマスメドレー」など、多ジャンルの楽曲で、冬の夜を楽しみました。



協力：(一社)星つむぎの村

ふれあいこどもまつり プレ企画

せいせき桜ヶ丘ラスカル子ども映画祭会場で、楽しいパフォーマンス!

日時 2024年2月3日(土)・4日(日)14時～(約45分)

場所 関戸公民館市民ロビー

出演 3日=道化師びりのどたばたコメディショー、4日=みてやってわらってチカパンの pantomime
※申し込み不要。直接会場へ。

こどものまち たま 2024

市民となり、仕事や遊びなどできる3日間!こどもがつくる、こどもだけのまちづくり体験イベント。

日時 2024年2月10日(土)～12日(祝)10時～16時30分

場所 関戸公民館ヴィータホール

対象 小学3年生～中学3年生

事前申込不要。直接会場へ。

※詳細はたま広報1月20日号をご覧ください。

スターライトバルコニーin 関戸

～関戸公民館で星とつながる3日間を過ごしませんか？～ に参加して



2日目。12月2日(土)関戸公民館7階 市民ロビーからの、健康センター屋上へ。

えっ、関戸公民館に寝ころび？ 市民ロビーの天井に星空が？ ワクワクが止まらず、飛んで行った。22組の親子がロビーを埋め尽くし、今か今かと始まりを待っている。

進行は一の宮児童館の上ちゃん。この観望会は関戸公民館、一の宮児童館、健康センター、つむぎ館の共催。「星つむぎの村」という団体からの映像提供で、関戸公民館の青ちゃんが、ゆっくり見てねとご挨拶。

いよいよ講師の野田祥代さん登場、消灯。第一声が「静かに見なくてもいいの、いっぱいおしゃべりしながら楽しく見て下さいね♪」子どもたち、俄然、活気づく。まず、今日の空、木星、土星が天井いっぱいに映る。天使のように響き渡る野田さんの甘い声が、とてもわかりやすく子どもたちの心に染み込んで行く。

昔の人は、明るい星に線を引いて大きな絵を描いた、これを星座と言います。大昔

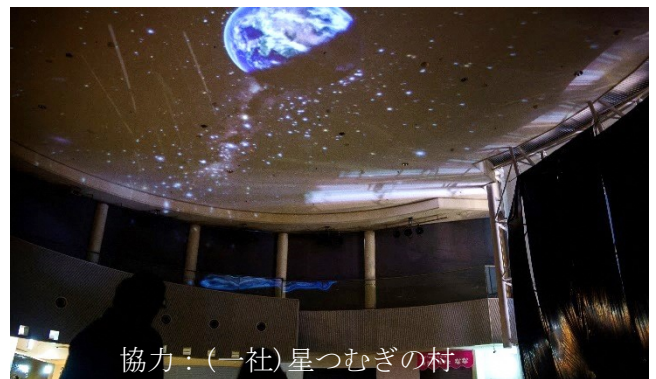


の人も同じ星を見ていたはず。さあ、宇宙へジャンプしてみよう。わあ、キレイ。地球が見える。みんなが生まれた星。国を分ける線など見当たらない、と言う野田さんの優しい声に、思わずホロリ。木星へ。木星は100に近い衛星を持つ。地球で言えば月のこと。大きい4個がガリレオ衛星。

次に土星へ。輪っかには氷の粒。輪っかでなわ跳びしよう。えーっ、どうやって？ ホントだ、寝ころびながら輪っかでなわ飛び。感動！そして太陽系へ。惑

星は太陽の周りを1年に1度回る。人は皆自分の歳の数だけ回ったことになるよ。みんな何回回った？おじいちゃんは100回？ 地球は46億回。人間の命の時間はちょっとだけど、みんな地球という小さな粒の上に乗って、泣いたり笑ったりしているよ。ここで不覚にもまたウルウル。

そして銀河系へ。直径10万光年。想像を絶する大きさ。宇宙の果てへ飛ぶ。小さい点が1つの銀河。宇宙ってめちゃくちゃ大きいんだねえ。星は爆発しても、星の材料は残って行く。地球が生まれ、生き物が生まれ、命のバトンを受け取ったのが今、ここにいる



協力：(一社)星つむぎの村

みんな。みんなの体を作っている材料も、昔、星だったものでできている。だからみんな星の子どもだよ。わあ、星の子ども♪ みんなの故郷、地球に帰ろう。地球に帰り着いた時、三たび感動の涙が。

歩いて健康センターへ移動。2組に分かれて、望遠鏡と地球ゴマを交互に堪能する。健康センター屋上の大きな天体望遠鏡の横には「星つむぎの村」の植村あゆみさんが待ち構えていて、どの子にもちゃんと星が見えるように手を添えてくれる。

地球ゴマの製作は会議室で。円形ではなく、なんと細長い筒に黒、青、緑、黄色いシールを貼るだけ。それを回すと、あ～ら不思議。空間に地球と月の満ち欠けが点滅して、幻想的に浮かび上がるのだ。まるで手品。

最後にまとめの会。本当に素晴らしい観望会だった。星見て泣くとは思わなかった。たった2時間で星空に対する概念が変わった気がする。かけがえのないステキな時間をありがとう。来年も絶対、実施して下さいね♪ (楽)

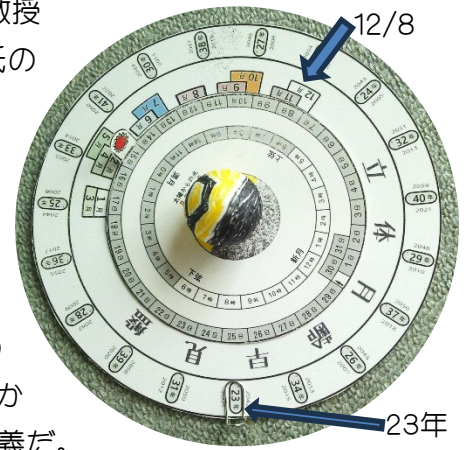
太陽系のレシピを知ろう

3日目。12月3日(日) 関戸公民館ギャラリーにて。月の立体早見盤を作る？ なんとビックリ、2004～2060年までの57年間の毎夜の月の形が分かる立体早見盤だった！

右の写真は完成後の手作り早見盤。2枚の大小円盤を重ね、ど真ん中に球形の月を指示通りにくっつけた。真っ黒に塗ってあるのが月の裏面だ。で、これをどう使うの？ 見づらいつと思うが、内側の小さな円盤が月日。12月8日に合わせてみた。外側の大きな円盤が年。23年(2023)の位置から見える形は、半月から新月へ向かう下弦の月。12月8日の夜の月だという。へ～っ、何十年も先の未来の月の形まで何で分かるんだろう？と、とっても不思議。だから、「月の満ち欠けカレンダー」があるのか…。

参加者は幼児から高齢の方までの幅広い年齢層。みんなワイワイ楽しそうだ。早見盤作成に先立って、

大妻女子大学准教授の下井倉ともみ氏の講義があった。「地球や太陽がどのように生まれたのか、同じような天体はどのように生まれるのか」をテーマに分かりやすく楽しい講義だ。



恒星とは何か？ 惑星とは？ 衛星とは？ 銀河とは？

私たちの地球は太陽という恒星を周る8惑星の一つで、銀河には太陽含め、無数の恒星があるという。星が回っていることを発見したガリオ。太陽系形成に関する基礎理論は故・林忠四郎氏を中心とした日本の「京都モデル」等、学びがいっぱい。

地球46億歳、宇宙137億歳。夜空の天の川は地球から見える銀河で、他の星々は銀河の外にある太陽同様の恒星と聞いて、時と広がり「無限」に思いを馳せた。人間はなんてちっぽけなんだろう。(月)

文庫連会員がお勧めする本

『ないしょでんしゃ』



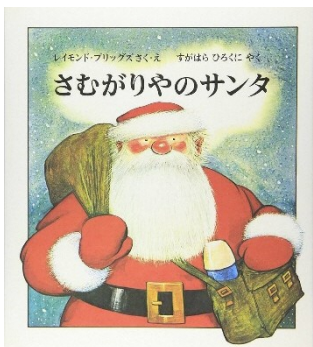
てはいかがでしょうか？

ぶん／くみこみこ え／かとうようこ
ひさかたチャイルド／2012年

《シーゴトン ナイショ ナイショ…》と電車がゆっくり動き出して始まる車掌さんと雪だるまたちの絵本です。産経児童出版文化賞・ひろすけ童話賞を受賞された作家「薫くみこ」と、明るくほのぼのとしたイラストの「かとうようこ」さんの、冬に起きた楽しくファンタジーな世界観の一冊です。車掌さんも知らない駅へ、ないしょでんしゃは《シーゴトン ナイショ ナイショ…》と進んでいきます。ちょっとした仕掛け絵本の演出もあり、何回読んでも楽しい絵本です。優しい語り口調で進んでいく物語を、お子さんとご一緒に読んでみ

多摩市文庫連絡協議会 かしのき文庫 影山健太

『さむがりやのサンタ』



クリスマス前には必ず読んでいた一冊です。

レイモンド・ブリックス／さく・え

すがはらひろくに／やく 福音館書店/1974年

国や年齢を問わず世界で最も有名な人、サンタクロース。これは私たちに非日常を与えてくれるサンタの日常の話です。クリスマスの朝、寒さに震えながら温かいコーヒーを飲んで、ペットやトナカイに餌をやり、大きな袋にたくさんのプレゼントを詰めて、そりに乗って仕事に出かけます。おもてなしのお菓子や飲み物に喜んだり、煙突の狭さや悪天候に文句を言ったり…。私たちの知るサンタクロース像とは少し違うかもしれませんが、そこに人間味があり愛嬌たっぷりに描かれています。文はあまり多くなく絵が多いので誰でも手に取りやすく、私も子供の時から

多摩市文庫連絡協議会 かしのき文庫 石田仁美

コラム え・さ・せ・と・ら

ザ・イルミネーション ショーン 永山の楽ちゃん



青年海外協力隊員として、太平洋に浮かぶ小さな島国・パラオに派遣されて5か月。今回は、任地のアメリカ小学校での日常を紹介したい。

まず学校に到着して最初に行うのが、朝食を食べること。なんとパラオでは朝も昼も給食が出る。そして、8時から授業…のはずが、8時に席についている子どもは8割ほど。それもそのはず、学校内に時計が2つくらいしかない。そのため、のんびりのんびりの「パラオタイム」で授業が始まる。

パラオで使われている言語はパラオ語。しかし、パラオ語で書かれた教科書や書籍はほとんどない。そのため、「教科書はすべて英語」で、「先生の説明はパラオ語」というハイブリッド形式で授業が進んでいく。そして、3時間の授業が終わると、なんとおやつタイム。子ども達は家々から持ってきたおやつを交換して盛大なおやつパーティーが始まる。

子ども達が一番好きな時間は、やはり昼休み。昼食を終えると一目散にグラウンドに走って行く。国技のヤキュウ（パラオ語でも野球）…と思いきや、サッカーに熱中。「サンダルだと滑るから」という理由で全員はだし。たくましい子ども達である。午後の授業を終えて帰りのスクールバスに乗る頃には、みんな疲れ切って爆睡。



多摩市からいただいたキティちゃんのクリアファイル

そんな素直でかわいいパラオの子ども達が一番驚いたのが、「私の日本の家は7階建てのマンションでエレベーターがある」と伝えたときである。それもそのはず、パラオには空港と高級ホテルくらいにしかエレベーターがない。「エレベーターに毎日乗れるなんて！」と目を輝かせていた子ども達に、「ココナッツに毎日木登りできるなんて！」とつい返してしまった。（ニーチェ）



ブログやってます。 Alii!!南の島 パラオから「こんにちは」

編集後記



☆聖蹟桜ヶ丘の5階A B館連絡ブリッジに、なんと私の作品も展示されることに。去年はあわてて同人誌の拡大コピーで埋めたが、今年は模造紙を買い込み、秀樹づくしのイラスト、功績で飾り立てたぞ♪ 通行人よ、こんな大スターが生きていたこと、忘れないでくれよ！（楽）
 ☆スターバルコニー事業は様々な協力を得て、関戸公民館職員が一丸となって取り組んだ。あのロビーを真っ暗にするのは至難の業。夏から試行錯誤とテストを繰り返してやっと実現。職員一同感無量。
 ☆あと少しで今年も終わり。とはいえ年末感を感じなくなってきた。この暖かい気候のせい？それとも年齢のせい？
 ☆大リーグ大谷。どこのチームに移っても二刀流が楽しみ、人柄に魅了される。そう、私達も同じ人間。与えられた、否、自分で選んできた今を精一杯生きて行く。（月）

た くさんの光に
 の みこまれそう
 □ あわせ煌めく
 いるみねーしょん
 困いにち見上げて
 ㊦ いさな歓声



「たのしいまち」うた みなさまもチャレンジしてみてくださいね。楽しい作品、お待ちしております。